

23/12/22 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議（第 58 回）
名古屋市民オンブズマンによるメモ

岡田：会場内における撮影・録音
開会から出席者紹介まで

13:59

岡田保存整備室長：始める
上田所長から挨拶

上田：お寒い中ご参加いただきありがとうございます
文化庁から渋谷、平澤調査官参加 あつく御礼
議題 水堀遺構をはじめ 2 件
石垣保存対策について
報告事項 舟運事業
きたんのない話を

岡田：出席者紹介
瀬口、丸山、小濱、麓、三浦、藤井
渋谷、平澤、山内
赤羽欠席
教育委員会、名古屋城総合事務所
議事に入る、撮影、録音はここまで
資料確認
構成員 参考資料 今年度検討一覧
今年度現状変更まとめた資料配布
座長に一任

瀬口：説明を

名古屋城：前の画面 当面の想定スケジュール
水堀 来年度当初発掘調査予定
報告 舟運 経路、船着場 社会実験今年度予定

名古屋城：前回 57 回 水堀活用ご審議
今後の発掘調査 辰之口、南波止場
辰之口 南蛮たたきと推定

南波止場

14:13

瀬口：ご意見ご質問は

南波止場 現地の説明ではできるだけ早くしたい
現状変更許可は次回以降でよいか

名古屋城：次回以降で取得したい

それ以降できるだけ速やかに工事したい

瀬口：部会に回したい

意見は

小濱：南波止場 石組みがある

遺構としてどんなものが予想できるか

名古屋城：現段階では情報がない

石敷状？

幕末 慶勝が古写真撮影 特段構造物は写っていない
幕末は遺構はなかった可能性

小濱：建物 ないわけ 礎石はない？

掘削して何がでるのか 期待したい

瀬口：金城温故録は

名古屋城：詳しい記述がない

瀬口：他の場所は

名古屋城：慶勝の写真はない

手前に二の丸から降りる門、木の階段

遺構は残っていない

北の波止場には施設があったよう

瀬口：木の階段は波止場ではない

名古屋城：埋門 南
調査範囲ではない

丸山：辰之口 南蛮たたき
二の丸庭園 南蛮練堀
「南蛮」の意味？
成分分析されるのか？どういう意味か

名古屋城：検出して部分ではがれるところ
厚みも把握したい たち割り
有識者の先生の意見を聞いて考えたい

瀬口：ほかは
辰之口 高さとの現在の排水溝の高さの差は

名古屋城：今の水面 搦め手馬出工事 水面を下げている
5-60cm 段差があると考え

瀬口：現在の排水溝
近世の水面の高さ たたきの高さとするのとどれくらい？

名古屋城：数十センチかな
正確な測量をしていない

瀬口：南波止場の船の乗り場の高さに関連していると思う
全体の高さ
周辺状況を
部会で検討していただく その結果をこちらに
次の議題
天守台石垣

14:23

山本：保存整備室
資料2 今年6月と重複
保存対策を優先的に行う石垣
(1) 間詰石の締め直し、補充
鉄筋挿入 赤い枠 栗石の動きを止める

D25 2m 1.5m間隔を想定

(2) 破損石材の修理

ステンレス棒等

他事例

今後の予定

U65

他はさらに慎重に検討

14:35

瀬口：ご意見ご質問は

麓：いくつか意見

間詰石の締め直し 問題ない

補充 落ちている個所に補充

詰まりすぎると、石垣表面の印象が変わる

少なくともやりすぎないように

積み方 時代による変化

築かれた時以上にやらないように

最初からぴっちり詰めるより、ある程度詰める

補足が必要ならまた詰める作業をしては

一部樹脂系の補修材

挿入できないところに無理に樹脂系補修材 差し込む必要があるのか？

なくてもいいような気がする やりすぎ

破損石材

剥離石材の修理 表面的な破損

被熱により表面が剥離 ほとんど強度がない

貼り付けても長持ちはしないだろう

ピンを用いて固定？ 剥離した方にも穴をあける

そんなに厚い剥離石があるとは思えない

「実物を見て、ピンを用いたほうがいい」

一般的にはピンは想像できない

「表面に擬石処理」やめたほうがいい

40年前にやった 経年変化で色、かえって見苦しくなる

石階段補修 石垣に必要なはあるか？

U65 化粧面ではない

ほとんど見えない 見えるとしても遠くから

接着して亀裂部分 そんなに気にする必要はない

「臼杵の摩崖仏の補修？」のような気がする
やりすぎない方がいいと思う
目立つところは後日やれる

名古屋城：先生のご意見を反映して進めたい

麓：あくまでもこんな方針

実際にやる時 ある程度標準的 こんな破損→こう修理
有識者が現地で見ながら確認した方が

名古屋城：間詰 江戸時代が残っている石垣 詰めすぎないように施工に反映したい
剥離 現場を石垣面掃除 乗っかっている石 奥行きはピン
剥離 無理に使うことはせずにしたい
擬石 U65 客から見えない

瀬口：擬石処理は削除するんですね？方針を変えない？

名古屋城：当初は擬石処理 他事例 築石表面

エポキシ樹脂が出てくると色が黒ずみ 紫外線による劣化、雨水進入
漏れ防止

石垣部会の中 石垣割れ どの程度供用すべきか 議論が揺れていた
擬石処理？疑問が今回出た

真摯に対応したい

瀬口：方針を変えるのかという質問

名古屋城：そういう方向で行きたい

瀬口：二之丸庭園 エポキシ樹脂 変色するという指摘

削除してほしい

これがOKとなると、後任の人が資料をみると、そうなる
訂正してほしい

名古屋城：その方向で考えたい

瀬口：麓「丁寧にやりすぎないように」

部会と全体の意見の違いがある

基本は部会がやる またおかしくなることはないか？

名古屋城：親委員会でご指導いただいたとお話しする機会を設けたい
ご了解いただく方向で

瀬口：部会の了解が必要なのか

名古屋城：報告 親委員会でこういう方向

瀬口：仕切ってもらわないと、西之丸の問題「部会に諮っていない」
全体に諮らなかつた
石垣部会の範囲を拡大した また齟齬 同じような問題が起きる
委員が意見を言うと、「参考にします」
所長さんどうですか

上田：本日委員から意見を頂戴した
事前に石垣部会委員に、ご相談した面もある
頂戴した意見もしっかり受け止め、最後の答えを出す前にご相談させていただきたい

瀬口：わからなかつた
仕切ってほしい
名古屋城特殊 部会の構成がいくつもある
総合事務所が注意しないと問題が起きる
ぜひ見ていただきたい ルール作らないととまた
部会に行く話ではなく、現状変更するという話でいいか

三浦：麓先生大賛成
付け加えたい
間詰石 ただ詰めればいい？
まとめに詰めてある 当初はきれい 抜け落ちている
あちこち補修 文化財と思っていない
姫路城ひどいもの
観察して、加工の仕方、入れ方、築石との関係
まともにやらないといけない
締め直すのは問題ない
付け加える 本物を観察して、結果に似せるようにしないと、文化財の破壊
間詰石まで復元しないと

名古屋城 日本最高の石垣がある
いいかげんではいけない しっかり勉強して

1 ページ (1) ア対策

※樹脂系の補修材を用いる

耐用数十年

石垣は数百年

補修は厳密にやっている

石垣は石だから

国宝の絵 接着剤 コメのり使っている

拙速 厳に慎まないと

エポキシ樹脂 よくないとわかっている

毒性がある 環境ホルモン?

鉄筋 土木学会 学術講演会根拠

「出せば効果がある」おかしい

一般論 間違ってることでも発表できる

効果があるかどうか検証されていない

数十年で破損するだろう

錆汁どうするのか

高さ5メートルの実物実験していないだろう

ぎゅうぎゅうに手で置いていく

鉄筋 手で差し込む 裏込石動く 検証されていない

裏込め ぎゅうぎゅう? 放り込んでいる? 違う

なぜD25を使うのか 抵抗があるだけ

思いつき、最近発表 飛びつくと取り返しのつかないことが起きる

十分検討すべき

U65については、すぐ直上に観覧者の導線

文化財の保存より、身体生命確保の方がはるかに優先

・近代以降補修が入っている 残り具合

・導線

ふさわしくない提案だが、やむを得ず認めてもいい

もし天守台石垣 このようなことをするなら断固反対する

名古屋城：しっかり受け止める

瀬口：私としては天守台石垣 書き直していただきたい

U65の持っている条件

保存対策をしますと書いて

エポキシ系樹脂 基本的に使わない方がいい
再度提出してもらいたい
現状変更の許可が必要 U65 急いで保存対策をしないとイケないのか

岡田：少しだけ1時間たったので休憩を入れたい
再開のタイミングで名古屋城の考えが述べたい

瀬口：休憩して 15時15分に再開
15:05

15:15
瀬口：再開

名古屋城：ご意見伺った
擬石処理 削除する方向でまとめたい
三浦先生 文化財の石垣 新しい新工法に飛びつくのはどうか
人が通るところの安全性、文化財の価値 U65についてはお認めいただいた
そのままにしたい
中身が変わるので、資料修正して3月全体会議に示したい

瀬口：3月の時に資料訂正して出す
U65 現状変更手続きが必要 本日認めたいということ

名古屋城：お願い

瀬口：許可申請はつかないのか

岡田：説明が複雑で申し訳ない
貴重な意見をいただいた
再度持ち帰って、あらためて3月全体に諮る
そこで了解いただければ現状変更許可しない

瀬口：本日の現状変更許可は次回持越しに
資料を再提出して

丸山：間詰石 抜けているところが多い
石材は

名古屋城：U65は花崗岩
堀底に落ちている 再利用 それだけでは足りない
花崗岩や砂岩

丸山：ごんた石（こうず石）
観察して
花崗岩ではなくこうず石？固い
石材 調査してもらいたい

村木：各所で石垣カルテ作っている
U65 かなり手が入っている
どの時代？違和感のない間詰石にしたい

瀬口：議題2については3月に再提出
文化庁は最後に意見
議題は終了

15:21

岡田：引き続きよろしく
舟運社会実験

名古屋城：舟運 経路、時間
3月中下旬
出発辰之口→西北隅櫓→茶席で折り返し
30分程度 10人くらい想定
50名程度
階段昇降施設 フロートを浮かべる
先月水堀 安全に通行できるか

岡田：以上 質問があれば よいか

名古屋城：3月中下旬予定
決まったらご案内したい 都合がつけば全体会議皆様もご乗船を

岡田：以上
最後にオブザーバー 文化庁、愛知県コメントは

渋谷：文化庁の渋谷

活発な議論ありがとう

石垣 三浦先生、麓先生 ほかの史跡補修 私どもも勉強させていただいた
名古屋城石垣かなり多い 丁寧にやっていく必要
全体会議、意見を踏まえながら部会と全体会議の仕分け しっかりして

岡田：平澤

平澤：資料2

資料の一部 今回は関係がない

文化財としての石垣 本質は何なのか

石でできている装飾？外装品？

修理 馬出 積みなおしに入る

構築技術 踏まえて石垣保存を考えて

資料2 2頁 他城実績 ほかにやっていますではなく、

どういうところで、成果はどうだったか

議論しようとしている石垣の保存対策

議論の材料には不十分であると思う

石垣の問題は重要

名古屋城石垣、構築技術を深めていって

岡田：ありがとう

山内様

山内：愛知県

勉強させていただいた

方向性お示しいただいた

事務局 うまく整理して次回会議しっかり現状変更できれば資料提出を

ご報告 舟運 名古屋城としての見どころアピール、活用つながる

愛知県としても喜ばしいこと

積み重ねてよりよい名古屋城情報発信を

岡田：以上となる

あらためて次回会議で議事 終わり

15：32